

9

2025年9月号
発行・浜田市ふるさと体験村
発行人・太田章彦
発行日・2025/9/1
電話・0855-48-3310
鳥取県浜田市浜田町三里 257-4



浜田市ふるさと体験村と
浜田市ふるさと体験村にまつわる
情報を伝えるために誕生した新聞です。
月に一度、弥栄町内だけに
発行しています。

弥栄の夏は最高でした。

旅行、帰省、遠征、合宿、研修。様々な目的で体験村を利用していました。本当にありがとうございました。おかげさまで、2年前の再開から最も多い売上をあげることができました。純粋に、嬉しい。

弥栄の誇りになれるように体験村を経営したい、と思いつつ、気付けば「まずは食つていかねば、つぶれるわけには：」と日銭をどう稼ぐかばかりで、理想を語るには実力がないと：しかし理想がないところには集まらないし：なんて自問自答の日々でした。が、挑戦の中で少しは成果が出たと思える一ヶ月でした。

売上が多かつた分、8月は本当に忙しくて、味里の通常営業に加えイベント出店、宿泊、体験メニューもあり、本当にへ口へ口だつたのですが、スタッフのえみちゃんは出勤する度に「働かせてもらえて嬉しい、ありがとう」と声をかけてくれる。おてつたびやいわみ留学で関わってくれる若者たちもめっちゃ良い場所（自然含めて）と言つてくれる。その言葉に疲労がほぐれて、頑張れました。そんなことが体験できた今年の弥栄の夏でした。最高でした。



「ふるさとまつり」「この夏」
：」。8月の弥栄には魅力的
なお祭りがありました。これ
は、弥栄あるあるかもしれま
せんが、出店者であり、客で
もあり、運営側もある…と
いう状況が度々発生します。
小さな地域でやるからこそ
状況だと思うのですが、これ
が、実はとっても良い。出店
するからには稼ぎたいし、で
も他の出店も気になるし食べ
たいし、こうして出店できて
他のお店で買い物できてって
いうのは企画からテント立て
等の設営があるからで。様々
な立場でお祭りに関わること
で多面的にお祭りを捉えるこ
とができる、感謝と協力と経済
が回ることで今まで続いてき
たことに気付かされる…とて
も尊いです。

お祭りが良い

今までのそばの概念を覆してしまいそうなそばを思いついたので、それを実現すべく試行中です。みなさん、乞ご期待下さい！

そばの新メニュー試行中



今年はカブトムシをまつた
く見なかつたのですが、8月
末にようやくカブトムシを発
見しました！久しぶりに手に
のせるカブトムシは、か、か、
かわいい!!こんなにかわい
かつたつけってくらい、クワ
ガタと比べると目が大きくて
それでいて、つぶら。ツノも
見れば見るほど、なんて美し
い形をしているんだろう、と
惚れぼれ。見つけられないだ
けで、いるんだな。たつた一
匹、されど一匹。カブトムシ
がいる森がここには広がつて
いるんだと改めて認識した、
ワクワクする出会いでした。

季節の終わり

A group of people, including a man in a blue shirt and a woman in a black shirt, are harvesting rice in a field. They are using long wooden tools to move large bundles of rice. In the background, there is a white building with a red roof, a parking lot with several cars, and a forested hillside under a clear blue sky.

稻刈りは秋のイメージが強いですが、弥栄の早いところでは8月の終わり頃から稻刈りが始まっています（去年より早い気がする！）。そんな中、「やさか表現大学」の稻刈りは9月27日に実施します。田植えのときは田植え機と手植えの二刀流でしたが、収穫の際もコンバインと手刈りの二刀流で、稻刈りをします。稻を刈ったあとはみんなで美味しい美味しい体験村のお弁当を食べます。9時から開始して、13時ごろの解散を予定しています。参加費は2,000円です。お申し込みは「やさか表現大学」のHPからお願いします。みんなで楽しく収穫体験しましょう！

稻刈り、始まっています